

若葉の光

札幌市立米里中学校

学校便り 第13号

発行日 令和2年3月25日(水)

「今こそ、目標をもって前進しよう！」

校長 藤倉 悟

今日、こうして元気な皆さんの姿を確認することができ、本当にうれしく思います。2月28日に開始した臨時休校や分散登校はみなさんにとってばかりでなく、私たち大人にとってもはじめての経験でした。この間、教職員でみなさんのためにできることは何かを考えながら行動してきましたが、それがみなさんにとって納得いくものではなかったかもしれません。

臨時休校の期間を通じて、大切なことに気づかされました。それは「学校」という存在の重要性です。皆さんが毎日、登校して生活する場所と時間帯があるからこそ保護者の皆さんが安心して働くことが保証されています。いったん休校がはじまると保護者の方は家庭で皆さんの面倒を見る必要性が出たり、一方では給食のための食材が不要になり破棄するなどあちらこちらで社会のバランスが大きく崩れることもわかりました。

この期間中、思いっきりゲームやYouTubeにはまった人もいたかもしれません。しかし、普段は学校生活を終え、夜限られた時間だったからこそ楽しかったけれど、制限なしにできるとなると飽きてしまった人もいると聞いています。

何より学校は集団生活の場です。あらためて9教科の授業を受けることや行事を実施すること、そこで達成感を得ること、日常の友人との語りや時にうまく行かずにけんかになることなどすべての出来事が皆さんの成長の肥料になっていたことに気づいてほしいと思います。

去る3月13日に第33回卒業式がおこなわれました。在校生や保護者が参加せず合唱もない式でしたが、それでも3年生は清々しい表情で本校を巣立っていきました。

3年生が卒業した今、米里中学校をリードしていくのは新2、3年生の皆さんです。2年生には4月7日の入学式から後輩ができます。3年生は最高学年として本校の顔としての立場で行動してもらうこととなります。すべての行事が中学校生活最後となります。もちろんまだコロナウイルスが終息したわけではありません。通常の学校生活のすべてが元通りにならないこともあります。しかし、その状況に流されるのではなく、今こそ、新年度のスタートにあたり自分の目標を立ててください。3年生には進路の決定が待ち受けています。2年生の皆さんは昨年の反省点をしっかり振り返り、自分の課題と向き合ってください。気持ちをあらたにこの3月、4月自分をコントロールできれば、その後の中学校生活も更に良い方向に向かっていくはずです。健康面に注意を払いながらも、自分自身の成長のために粘り強く努力する春になることを期待しています。